

平成23年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名 タツモ株式会社 上場取引所 大
 コード番号 6266 URL <http://www.tazmo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 俊夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長兼経営企画室長 (氏名) 亀山 重夫 (TEL)0866(62)0923
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第3四半期の連結業績(平成23年1月1日~平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第3四半期	7,500	8.1	△49	—	△77	—	△182	—
22年12月期第3四半期	6,936	32.8	405	—	396	—	369	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第3四半期	△53.70	—
22年12月期第3四半期	108.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第3四半期	11,121	6,071	54.5	1,784.35
22年12月期	12,924	6,324	48.9	1,860.33

(参考)自己資本 23年12月期第3四半期 6,066百万円 22年12月期 6,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	—	—	16.00	16.00
23年12月期	—	—	—	—	—
23年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日~平成23年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	10,489	△3.1	145	△60.4	117	△67.1	12	△96.9	—	3.53

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

- ② ①以外の変更 : 有・無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

23年12月期3Q	3,400,000株	22年12月期	3,400,000株
-----------	------------	---------	------------

- ② 期末自己株式数

23年12月期3Q	349株	22年12月期	276株
-----------	------	---------	------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年12月期3Q	3,399,651株	22年12月期3Q	3,399,770株
-----------	------------	-----------	------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
受注の状況	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により落ち込んだ企業の生産活動に回復の兆しがみられたものの、米国・欧州の財政不安による円高や株安が進行し、国内経済は先行き不透明な状況が続いております。当社グループを取りまく事業環境では、半導体業界において半導体製品の需給バランスの悪化を受け、半導体メーカーの投資姿勢に慎重な動きが見られるようになりました。

このような経営環境のなか、当社グループは液晶、半導体製造装置の営業強化、新規開発装置に取り組むとともに、全社的なコスト削減の実施に取り組んでまいりましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ564百万円増収の7,500百万円(前年同期比8.1%増)、営業損失49百万円(前年同期は405百万円の営業利益)、経常損失77百万円(前年同期は396百万円の経常利益)、四半期純損失182百万円(前年同期は369百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績につきましては、以下のとおりになっております。

(プロセス機器事業)

液晶製造装置部門につきましては、昨年度に出荷した大型装置が、第1四半期に検収となり売上高は増加しましたが、以降については液晶テレビ業界の成熟化に伴いカラーフィルター製造装置の受注、売上は減少いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上は3,620百万円になりました。半導体関連機器につきましては、新規開発装置も加わり売上、受注ともに順調に推移いたしました。当第3四半期連結累計期間の売上高は2,689百万円となりました。

以上の結果、プロセス機器事業の売上高は6,309百万円になりました。利益につきましては、歴史的な円高による装置価格の低下、半導体装置の検収が第4四半期にずれ込んだため、セグメント損失47百万円となりました。

(金型・樹脂成形事業)

金型・樹脂成形事業は、デジタル家電製品向けなどの材料を主体として、売上は回復しておりますが、販売単価については厳しい状態が続いております。当第3四半期連結累計期間の売上高は1,190百万円、セグメント損失200百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,679百万円減少し7,487百万円となりました。これは主に「仕掛品」の減少額781百万円と「受取手形及び売掛金」の減少額716百万円によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて123百万円減少し3,634百万円となりました。これは主に「有形固定資産」の減少額123百万円によるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,267百万円減少し4,071百万円となりました。これは主に「前受金」の減少額1,728百万円によるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ282百万円減少し978百万円となりました。これは主に「長期借入金」の減少額228百万円によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ253百万円減少し6,071百万円となりました。これは主に「利益剰余金」の減少額236百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は54.5%（前連結会計年度末比5.6ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

歴史的な円高が続くなか、装置価格の低下により収益状況の厳しい状況が続いており連結業績予想を引き下げることにしました。

なお、平成23年2月10日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	11,493	497	500	415	122	09
今回修正予想 (B)	10,489	145	117	12	3	53
増減額 (B-A)	△1,004	△352	△383	△403	—	
増減率 (%)	△8.7	△70.8	△76.6	△97.1	—	
前期実績	10,821	366	354	383	112	91

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸資産の算出につきましては、実地たな卸を省略し前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。

2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等の著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められる場合は、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

なお、当第3四半期連結会計期間において、経営環境の著しい変化により、期首の繰延税金資産の回収可能性を見直したことによる繰延税金資産の取崩し79,269千円を実施しております。

3. 税金費用の計算方法

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これによる影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,675,574	1,827,889
受取手形及び売掛金	1,802,174	2,518,823
商品及び製品	90,611	75,132
仕掛品	2,996,207	3,777,528
原材料及び貯蔵品	558,729	309,393
繰延税金資産	311,212	390,705
その他	54,848	275,375
貸倒引当金	△1,893	△8,143
流動資産合計	7,487,463	9,166,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,785,256	3,765,892
減価償却累計額	△2,057,586	△1,966,519
建物及び構築物(純額)	1,727,669	1,799,373
機械装置及び運搬具	1,699,298	1,737,111
減価償却累計額	△1,304,907	△1,284,744
機械装置及び運搬具(純額)	394,391	452,367
その他	1,649,834	1,633,819
減価償却累計額	△550,371	△540,809
その他(純額)	1,099,463	1,093,010
有形固定資産合計	3,221,524	3,344,751
無形固定資産		
ソフトウェア	33,016	28,860
その他	7,021	7,257
無形固定資産合計	40,037	36,118
投資その他の資産		
投資有価証券	274,463	279,273
繰延税金資産	—	420
その他	159,784	141,546
貸倒引当金	△61,698	△44,035
投資その他の資産合計	372,549	377,204
固定資産合計	3,634,111	3,758,074
資産合計	11,121,575	12,924,780

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,567,264	1,570,525
短期借入金	928,740	505,696
未払金	394,084	487,331
未払法人税等	12,629	18,712
前受金	893,508	2,622,199
製品保証引当金	95,629	89,600
賞与引当金	87,460	24,261
その他	92,228	20,891
流動負債合計	4,071,545	5,339,217
固定負債		
長期借入金	528,490	756,850
退職給付引当金	25,149	21,982
役員退職慰労引当金	267,438	255,800
その他	157,850	226,323
固定負債合計	978,927	1,260,956
負債合計	5,050,473	6,600,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,395,240	1,395,240
資本剰余金	1,909,398	1,909,398
利益剰余金	2,881,306	3,118,276
自己株式	△644	△551
株主資本合計	6,185,300	6,422,363
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,872	△2,089
為替換算調整勘定	△115,277	△95,667
評価・換算差額等合計	△119,149	△97,756
新株予約権	4,950	—
純資産合計	6,071,101	6,324,606
負債純資産合計	11,121,575	12,924,780

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	6,936,640	7,500,813
売上原価	5,124,174	6,273,673
売上総利益	1,812,466	1,227,139
販売費及び一般管理費	1,406,506	1,276,773
営業利益又は営業損失(△)	405,959	△49,634
営業外収益		
受取利息	4,894	2,326
受取賃貸料	11,382	7,123
受取手数料	3,285	2,780
その他	5,170	8,431
営業外収益合計	24,732	20,662
営業外費用		
支払利息	13,480	9,894
為替差損	20,033	32,484
その他	796	6,186
営業外費用合計	34,310	48,566
経常利益又は経常損失(△)	396,381	△77,538
特別利益		
固定資産売却益	546	185
貸倒引当金戻入額	1,970	—
特別利益合計	2,517	185
特別損失		
固定資産売却損	9	—
固定資産除却損	1,183	8,490
投資有価証券評価損	7,407	2,873
退職給付制度改定損	176,182	—
特別損失合計	184,782	11,363
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	214,116	△88,715
法人税等	△155,028	93,858
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△182,574
四半期純利益又は四半期純損失(△)	369,144	△182,574

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	214,116	△88,715
減価償却費	309,640	245,191
売上債権の増減額(△は増加)	791,992	695,612
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,328,670	501,018
仕入債務の増減額(△は減少)	△581,323	△862
前受金の増減額(△は減少)	1,952,854	△1,707,476
その他	102,672	139,263
小計	461,281	△215,970
法人税等の支払額	△34,960	△20,765
その他の支出	△3,395	△8,126
営業活動によるキャッシュ・フロー	422,926	△244,862
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△502,935	—
有形固定資産の取得による支出	△81,499	△119,613
有形固定資産の売却による収入	1,787	948
無形固定資産の取得による支出	△6,955	△14,559
有価証券の償還による収入	250,000	150,000
その他	106,800	△786
投資活動によるキャッシュ・フロー	△232,800	15,989
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△113,019	463,069
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△417,267	△368,452
配当金の支払額	△886	△54,427
その他	△91	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー	△531,263	140,096
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39,261	△63,404
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△380,399	△152,180
現金及び現金同等物の期首残高	1,971,764	1,818,123
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,591,364	1,665,943

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報等)

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)

(単位:千円)

	プロセス機器事業	金型・樹脂成形事業	合計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,714,329	1,222,311	6,936,640	—	6,936,640
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,714,329	1,222,311	6,936,640	—	6,936,640
営業利益	394,531	11,428	405,959	—	405,959

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品やサービスの特性及び販売市場の類似性から区分される「プロセス機器事業」及び「金型・樹脂成形事業」の2つを報告セグメントとしております。

「プロセス機器事業」は、液晶ディスプレイや半導体などの電子デバイス製造プロセス機器及びその周辺機器類の開発、製造、販売、保守、メンテナンスを行っております。

「金型・樹脂成形事業」は、樹脂成形用精密金型及び樹脂成形品の製造、販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	プロセス機器事業	金型・樹脂成形事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,309,993	1,190,819	7,500,813	—	7,500,813
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	8,326	8,326	△8,326	—
計	6,309,993	1,199,145	7,509,139	△8,326	7,500,813
セグメント損失(△)	△47,440	△2,193	△49,634	—	△49,634

(注) セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成23年1月1日 至平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注の状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（千円）	受注残高（千円）
プロセス機器事業	4,067,892	3,026,832
液晶製造装置	1,149,139	974,772
半導体関連機器	2,918,752	2,052,060
金型・樹脂成形事業	1,064,520	155,062
合計	5,132,413	3,181,895

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。